

# 住民自らが地域防災力について考える！



災害対策基本法や土砂災害防止法の改正等を受け、各機関の災害発生時等における役割が明確化されたことから、立山砂防事務所においても、住民・市町村・県と連携し、取り組んでいます。

今回は、地域住民が安全かつ迅速に避難するために、住民の方に自らの問題として取り組んでもらい、「地域防災力」を向上する目的として、ワークショップ型式の勉強会・検討会を実施しました。

- ・日時 平成27年8月19日(木) 18:30~20:30
- ・場所 谷口公民館(立山町)
- ・参加者 東谷地区(白岩、四谷尾、虫谷、谷口)住民39人  
立山町、立山砂防事務所、富山県  
県内市町村の防災担当者

## <ワーキングを実施してみて>

会場には、各地区からたくさんの方が参加していただき、「身近に起こった土砂災害」や「日頃危険だと感じていること」等のテーマが司会から与えられると、各地区の班ごとに体験談や日頃思っていること等、とても活発に意見が交わされました。

もし土砂災害にあったらどこへ逃げればいいのか、助けを求めている人がどこの家にいるのか、どのような自助共助ができるか等々、改めて住んでいる地区の土砂災害や防災のあり方について考えていただける機会になったと思っています。



土砂災害についての勉強会



各班で出し合った意見を発表

各意見を出し合い、地図に情報を  
書き込んでいくワーキング状況



地元の方がまとめた地図



(黄色: 思うこと、課題 青色: 過去の災害)